

2013年度 大学における環境対策等に関する全国調査

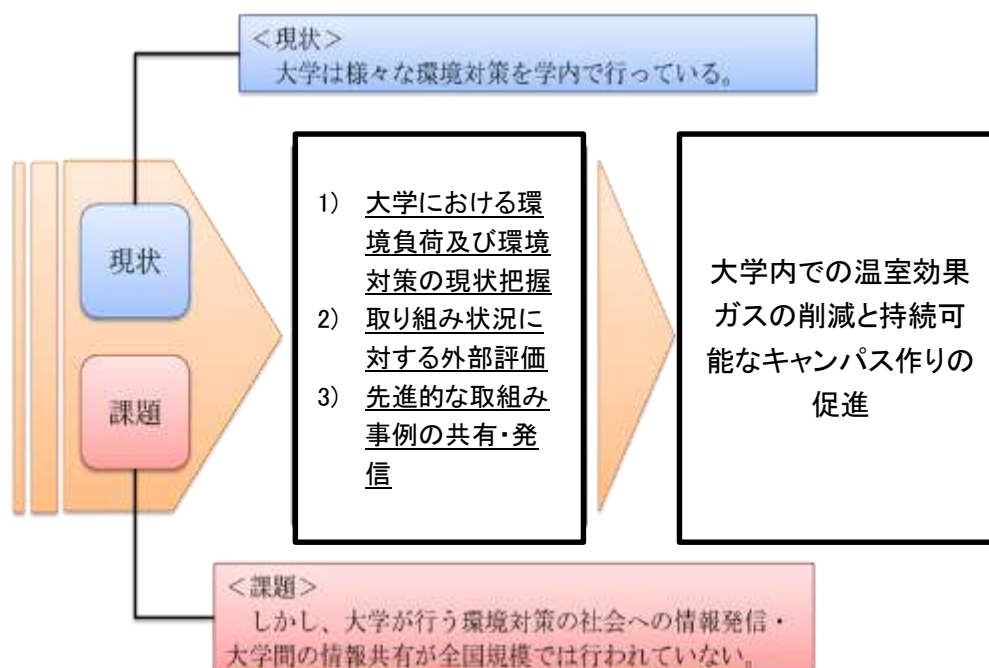
概要書

1. 目的

弊団体では2009年から4年間にわたり、大学における環境に関する取り組みの調査を実施してきました。これまでに調査にご協力をいただいた大学は全国各地から、その数300校近くに上ります（[資料1](#)：調査にご協力頂いた大学をご参照ください）。これまでの調査の結果から、すでに国内においても多くの大学が、環境教育・施設運用の両面から、何らかの取り組みを行っていることが明らかになりました。これらの調査の結果は行政機関や企業など多くの方々にご参照頂いております。しかし未だに、特色ある優れた取り組みが相互に共有される機会は少なく、外部評価も不足しており、環境対策の効果検証が十分になされていないといった課題点もあります。

大学における環境対策等に関する全国調査は上記の課題点の改善・向上を図り、将来の持続可能な社会における大学の役割を高めていくために、以下の目的を掲げています。

今年度は更に充実した調査を行うため「事業者としての側面」と「教育・研究機関としての側面」という観点から多面的に調査を行いたいと考えております。



大学における環境対策等に関する全国調査/エコ大学ランキングの目的

2. 調査内容

(1) 調査対象

国内全ての四年制大学・大学院大学

(2) 回答期間

2013年8月19日(月)～2013年9月30日(月)

8月	9月	10月	11月	12月
	調査票回答受付			
		採点/評価検討期間		
				<ul style="list-style-type: none"> ●上位大学結果通知 ●結果発表 ●プレスリリース 上位校の取り組み 事例取材 ●上位校表彰式

大学における環境対策等に関する全国調査/エコ大学ランキングの流れ

(3) 評価項目

本調査の内容は大きく分けて、以下の9つのカテゴリに分かれております。エコ大学ランキングの総合評価は、これら各項目得点の合計となります。

事業者としての側面	教育・研究機関としての側面
①エネルギー・CO2	⑥環境教育
②資源循環	⑦環境関連研究
③生物多様	⑧学生との連携・協働
④マネジメントシステム	⑨地域社会への還元
⑤社会的責任	

(4) 調査結果の公表

ご回答頂いた内容は全て統計処理した上で、大学における環境対策等に関する全国調査の結果として公表致します。また貴校の取り組み状況を相対的に評価する「エコ成績表」を、個別に送付致します。また、特に優れた対策を実施されている大学については、エコ大学ランキング上位校として、新聞などメディアに対してのプレスリリースを行い、その結果を発信させていただきます（※資料2: 2012年度エコ大学ランキング結果報道採録(一部抜粋)をご参照下さい）。なお、上位以外の大学の回答内容及び順位は、エコ成績表にてそれぞれの大学にお返しする以外、一切公開を致しません。

(5) 期待される効果

各大学には本調査へご参加いただけることによって以下の効果が期待されます。

1) 貴校環境対策状況への相対的な分析結果の提供

本調査にご回答された場合、「エコ成績表」により、貴校の環境対策が他大学と比較してどのような点が優れており、またどのような点で改善の余地があるのかなどについて把握することができます。

2) 社会への情報発信

エコ大学ランキングの上位に入賞した場合は、環境対策を先進的に進めている「エコ大学」として、広くメディアに対する発信を行います。また大学における環境対策等に関する全国調査およびエコ大学ランキングに参加ご協力いただきました場合には、参加校として貴大学名を公表させていただきます。上位以外の大学の個別順位・成績に関する公表は行いません。

(6) 回答項目・回答方法・回答期限

1) 回答項目

エコ大学ランキングにご参加いただく場合

別添調査票にてチェックボックスの「エコ大学ランキングへ参加」をお選びいただいた上、可能な限り全ての項目にご回答ください。ご回答が難しい内容につきましては、斜線を引くなどして、無回答が分かるようにしてください。

エコ大学ランキングにご参加いただかない場合

別添調査票にてチェックボックスの「ランキング不参加」をお選びいただいた上、お答え頂ける範囲でご回答下さい。なお、ランキング不参加をお選びいただいた大学はエコ大学ランキング参加校には含まれず、大学における環境対策等に関する全国調査回答校として、貴校名を記載させていただきます。また、エコ成績表の返送は行われません。

2) 回答方法

電子媒体でのご回答（推奨）

集計の正確性に期するため、できる限り電子媒体でのご回答をお願いしております。

調査票 Excel ファイルを下記の URL (<http://ccc.eco-2000.net/eco-campus>) よりダウンロードの上、ご記入頂き、メール添付で <ccc@eco-2000.net> までお送り下さい。ファイル名には、大学名と提出日を記載頂き、（例：「【〇〇大学】調査票_0830.xls」）メールの件名を「【〇〇大学：回答】大学における環境対策等に関する全国調査」としてお送り頂きますよう、お願い申し上げます。

紙媒体でのご回答

本概要書とともに添付しております調査票にご記入頂き、同封の返信用封筒（切手不要）にて、ご返送下さい。なお、貴校の環境対策に関する資料（環境報告書等）がございましたら、調査票を返送される際に同封頂きますと、参考資料とさせていただきます（資料は任意の送付となり、ランキング結果には必ずしも反映致しません）。

3) 回答期限

平成 25 年 9 月 30 日（月） <<必着>>

2012 年度エコ大学ランキングにて上位入賞された大学のコメント

学校法人 日本工業大学

環境推進事務局 原渡 様

日本工業大学は、第4回エコ大学ランキング（2012年）で私立大学としては初めて総合第1位を獲得しました。これは本学が、地球温暖化対策として2000年から継続的に自然エネルギー（太陽光発電設備・風力発電）導入などの省エネルギー推進活動や、学生が主体で行っている地域と密着した環境活動などが高い評価を得たものと捉えています。同時に、この受賞により本学の環境活動へのモチベーション向上が、一層図られた機会になったと確信しています。さらに好影響として、以前から「環境が学べる大学」としても評価されていた本学であります。受賞以降は、他大学や企業による取材・学内環境施設見学、講演依頼等が一段と多くなり、本学を紹介させていただけることが増えています。

このエコ大学ランキングは、各大学の環境活動を様々な指標をもとに、NPO法人エコ・リーグが客観的に評価するものです。エコキャンパスを目指す多くの大学は、それぞれの特色を活かし、地球環境の維持向上へと繋げて行ける活動の一つとして、是非とも一緒に参加されることを期待します。

国立大学法人 東京大学

TSCP 室室長補佐 迫田一昭 様

大学のキャンパスは、研究室、教室、事務室、実験施設、食堂、売店、宿舎、さらには病院があったりと、様々な用途の建物と多くの人たちで構成され、さながら小さな町の縮図と言えます。

持続可能な社会の実現を考えると、大学を大きな実験室として、大学自身が環境負荷低減の成果をあげる事が出来れば、社会の持続可能な実現する道筋が見えてきます。

各大学の置かれている状況は異なり取組は様々ですが、難しい事を挑戦的にやるのも大学ですし、社会からは未来への答えを期待されています。

このエコ大学ランキングは、2009年に始まった日本で唯一の大学環境評価であり、大学にとってはランキングよりも、継続参加による自大学の判断ツールとして大変有効です。

ぜひ、多くの大学が参加され、調査回答を通じた知見が新たな取組のきっかけにつながる事を期待します。



3. 弊団体について

CCC 実行委員会とは

私たち CCC 実行委員会は、特定非営利活動法人エコ・リーグを中心として、大学の環境改善活動に関心のある大学の環境サークル・環境ゼミ等のグループをメンバーとする組織です。現在、約 30 大学にメンバーがおります。

CCC 実行委員会が目指すもの

全国には約 750 の大学があり、280 万人余りの学生が通っています。大学全体における温室効果ガスの排出削減ポテンシャルは高く、またそのための対策活動はこれから社会を担ってゆく人材である「学生」に対する教育効果も高いと考えられます。地球温暖化問題に対する意識の高まりから、環境分野における研究を進める大学・学部が増えてい一方で、大学内部での温暖化対策に積極的な大学は未だ少数です。取り組みが進まない理由として、大学での温暖化対策の教育的・社会的意義が十分に認識されていないことや、大学間の対策事例・ノウハウの共有が不十分なこと、構成員の大部分を占める学生が実践的な温暖化対策に取り組んでいないこと等が挙げられます。

そこで、1) 大学での温暖化対策の重要性に対する認識を高めること、2) 学生・教職員の温暖化対策活動を支援することを目的として本事業を行っています。学生にとって一番身近なコミュニティであるキャンパスを「小さな社会」、「大きな実験室」と捉え、将来を担ってゆく人材が積極的でチャレンジングな活動に取り組むよう促進することで、なかなか進まない大学の温暖化対策の促進と共に、学生の成長を促すことを目指しています。

このような考えのもと、CCC 実行委員会では、日本の大学の持続可能なキャンパスづくりを促進するために、以下のような多様な取り組みを行っています。

- (1) 調査・発信：エコ大学ランキング、大学における環境対策等に関する全国調査
- (2) 情報提供・活動支援：エコキャンパスツアー、学生活動マニュアル

CCC 実行委員会では、このように大学側、学生側両方に焦点を当てた企画を行い、日本の大学をカーボンフリーにすることを目指し活動しています。

なお、CCC 実行委員会の活動である、大学における環境対策等に関する全国調査、第 5 回エコ大学ランキング（大学の持続可能性に関するランキング）、独立行政法人環境再生保全機構の平成 25 年度地球環境基金の助成を受けて実施しています。

4. お問い合わせ先

特定非営利活動法人エコ・リーグ Campus Climate Challenge 実行委員会

担当：小竹、服部

〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-19 銀鈴会館 507

TEL: 070-5374-4443 FAX : 03-5225-7206

E-mail:ccc@eco-2000.net

5. ご協力いただいている方々

本調査は下記の方々のご協力により作成いたしました。厚く御礼申し上げます。

【後援】

独立行政法人 環境再生保全機構による平成 25 年度地球環境基金

【協力】

株式会社ポストインネットワーク社

私立大学環境対策協議会



資料 1. 調査にご協力いただいた大学 (順不同)

旭川医科大学	帝京大学	愛知県立芸術大学	立命館大学
小樽商科大学	東海大学(湘南キャンパス)	朝日大学	龍谷大学
北見工業大学	東京工芸大学	岐阜薬科大学	和歌山大学
札幌医科大学	東京都市大学	静岡県立大学	岡山県立大学
札幌市立大学	独協医科大学	静岡大学	岡山理科大学
名寄市立大学	独協大学	皇學館大学	香川大学
釧路公立大学	長岡技術科学大学	中京大学	香川県立保健医療大学
苫小牧駒澤大学	日本工業大学	中部大学	川崎医療福祉大学
北海道大学	上越教育大学	常葉学園大学	吉備国際大学
北海道教育大学	富山大学	東海学園大学	芸術科学大学
北海道工業大学	石川県立大学	豊橋創造大学・	高知県立大学(池キャンパス)
藤女子大学	新潟県立大学	豊橋創造大学/短期大学部	高知県立大学(永国寺キャンパス)
室蘭工業大学	新潟工科大学	名古屋市立大学	県立広島大学
会津大学	新潟大学	名古屋工業大学	島根大学
青森大学	福井大学(松岡キャンパス)	名古屋文理大学	島根県立大学
青森県立保健大学	福井大学(文京キャンパス)	名古屋女子大学	下関市立大学
青森公立大学	松本大学	名古屋大学	就実大学
秋田大学	フェリス女子学院大学	日本赤十字豊橋看護大学	高松大学
秋田県立大学	文教大学	浜松医科大学	鳥取環境大学
石川県立看護大学	山梨県立大学	三重大学	広島経済大学
いわき明星大学	山梨大学	三重県立看護大学	広島工業大学
岩手大学	横浜国立大学	名城大学	広島修道大学
岩手県立大学	横浜市立大学	追手門学院大学	広島市立大学
金沢医科大学	亜細亜大学	大阪工業大学	広島女学院大学
金沢学院大学	桜美林大学	大阪体育大学	広島大学
金沢星陵大学	嘉悦大学	大阪産業大学	松山大学
上越教育大学	学習院大学	大阪電気通信大学	山口県立大学
郡山女子大学/短期大学	慶応義塾大学	大阪大学	大分大学
尚綱学院大学	国学院大学	大阪府立大学	鹿島体育大学
東北公益文科大学	国際教養大学	関西大学	北九州市立大学
東北工業大学	国際基督教大学	関西医科大学	九州工業大学
東北大学	駒澤大学(駒澤キャンパス)	関西福祉大学	九州歯科大学
日本赤十字秋田看護大学	首都大学東京	京都教育大学	九州大学
宮城教育大学	成蹊大学	京都工芸繊維大学	九州保健福祉大学
八戸工業大学	聖路加看護大学	京都女子大学	熊本大学
福島大学	大正大学	京都産業大学	熊本学園大学
山形大学	玉川大学	京都精華大学	久留米工業大学
山形県立保健医療大学	多摩大学	京都大学	長崎大学
麻布大学	中央大学	京都府立大学	長崎県立大学
青山学院大学	津田塾大学	京都府立医科大学	西九州大学
茨城キリスト教大学	東京医科歯科大学	近畿大学	日本文理大学
宇都宮大学	東京家政学院大学	近大姫路大学	福岡県立大学
神奈川県立保健福祉大学	東京学芸大学	神戸海星女子学院大学	福岡教育大学
神奈川工科大学	東京家政大学	神戸学院大学	宮崎大学
神田外国語大学	東京神大学	神戸市看護大学	宮崎産業経営大学
共愛学園前橋国際大学	東京電機大学	神戸松蔭女子学院大学	立命館アジア太平洋大学
群馬県立女子大学	東京農工大学	神戸夙川学院大学	沖縄県立看護大学
群馬医療福祉大学	東京大学	神戸薬科大学	沖縄大学
群馬県立県民健康科学大学	東京未来大学	神戸山手大学・	明桜大学
敬愛大学	東洋学園大学	神戸山手短期大学	琉球大学
埼玉大学	日本医科大学	種智院大学	
駿河大学	日本獣医生命科学大学	摂南大学	
千葉商科大学	日本赤十字看護大学	四天王寺大学短期大学部	
自治医科大学	日本女子大学	安造形大学	
十文字学園女子大学・	法政大学	同志社大学	
同短期大学部	星薬科大学	同志社女子大学	
聖徳大学・	一橋大学	奈良県立大学	
聖徳大学短期大学部	武蔵野大学	奈良県立医科大学	
常磐大学	明治大学	奈良先端科学技術大学院大学	
洗足学園音楽大学	明星大学	姫路獨協大学	
高崎経済大学	立正大学	兵庫教育大学	
千葉大学	早稲田大学	びわこ成蹊スポーツ大学	
筑波大学	愛知学院大学	佛教大学	
筑波技術大学	愛知教育大学	武庫川女子大学	
都留文科大学	愛知工業大学		

資料 2. 2012 年度エコ大学ランキング結果報道採録(一部抜粋)

2012 年度は全国紙、大学誌、ラジオ等で 27 媒体に掲載されました。

新聞

- 1 大学のCO₂排出量7%減 11年度、節電など対策強化 (10月18日 日本経済新聞 夕刊)
- 2 エコな大学1位は、日本工大 節電取り組み評価 (10月24日 朝日新聞 朝刊)
- 3 “エコ大学”をランキング 震災機に進む大学の環境対策 (10月24日 電気新聞)
- 4 エコ大学ランキング:No. 1は日本工大 (10月29日 毎日新聞 朝刊)
- 5 フェリスがエコ大学2位...学生サークルが傘袋開発、ポリ袋減 (11月7日 読売新聞(神奈川県版)朝刊)
- 6 日本工業大学 エコ大学ナンバーワンに 11月1日 高校生新聞 他

Web ページ

- 1 日本工業大学が「第4回エコ大学ランキング」で全国総合第1位に入賞—CO₂削減、自然エネルギー導入などで高い評価 10月19日 大学プレスセンター <http://www.u-presscenter.jp/modules/bulletin/index.php?page=article&storyid=4530#.UIS4ssUmRlk>
- 2 日本工大、私立大初の1位 第4回エコ大学ランキング 10月22日 SankeiBiz <http://www.sankeibiz.jp/compliance/news/121022/cpd1210220502000-n1.htm>
- 3 エコな大学1位は、日本工大 節電取り組み評価 10月24日 朝日新聞デジタル <http://digital.asahi.com/articles/TKY201210230640.html>
- 4 “エコ大学”をランキング 震災機に進む大学の環境対策 10月24日 電気新聞 Web 版 http://www.shimbun.denki.or.jp/news/energy/20121024_01.html
- 5 「第4回エコ大学ランキング」で全国総合第1位に入賞 10月24日 CollColl キャンパスナビ http://collcoll.net/campusnews/entry_896/
- 6 エコ大学で2位に フェリス女学院大 10月25日 タウンニュース <http://www.townnews.co.jp/0107/2012/10/25/162568.html>
- 7 環境対策1位は日本工大宮代—エコ・リーグがエコ大学格付け 10月26日 日刊工業新聞グループサイト <http://www.nikkan.co.jp/news/nkx0520121026caad.html> 他

その他報道機関

- 1 ラジオ番組「Earth Conscious Act」11月8日 Tokyo FM
- 2 大学探しランキングブック 2013 P,189 12月21日 大学通信

2013 年度大学における環境対策等に関する全国調査 よくあるご質問(FAQ)

調査対象の大学様から、本調査に関して特に多くお寄せいただくご質問について、ご質問の内容とその回答を掲載いたします。回答の際の注意事項に関する、詳しい説明は調査表に記載しておりますので、そちらをご参照の上、ご記入ください。その他のご質問は、お手数ですが幣団体までお問い合わせ願います。

ご質問と回答

■回答対象に関してのご質問

Q1. キャンパスが複数存在しており、各キャンパスによって実施している対策が異なります。回答内容の範囲を全キャンパスとするには、どのように記入すれば良いのでしょうか？

→お手数ですが、幣団体ホームページ上<<http://ccc.eco-2000.net/eco-campus>>から調査票をダウンロードし、キャンパスごとの回答を提出してください。その際は、内容が異なる部分のみ記入し、全キャンパス同一の内容はその旨を記載して頂ければ結構です。

Q2. キャンパス附属の各施設については調査対象に含まれますか？

→大学・大学院において、教育活動および研究活動を行う上で必須、またはほとんどの構成員が利用する施設に関しては、原則的に含めてください。具体的な附設および併設の機関・施設の扱いに関しては、下記表をご参照ください。

短期大学	各回答項目間での整合性がとれていれば、含めても、含めなくても構いません。含める場合のみ、大学名の表記には、 ○○大学・○○短期大学と列記してください。
幼稚園 小学校 中学校 高校	<p><u>1. 学生数/教職員数</u> 大学生数、教職員数につきましては、大学および大学院のみを対象とし、幼稚園・小学校・中学校・高校は含まない値をご記入下さい。</p> <p><u>2. 面積/エネルギー使用量等</u> 面積（敷地面積・延べ床面積）及びエネルギー使用量等につきましても、可能であれば、幼稚園・小学校・中学校・高校による値は除外してください。区分することが技術的に困難な場合は、全てを含めた値を記載して頂いて構いません。その際、調査票「§0-3-3-(22).設置されている部局」の【その他】の回答欄に、含まれる部局(高校等)の内容をご記入ください。</p>
生協	全て含めた値をご記入ください。
附属病院 臨床センター 放送大学 等	全て含めた値をご記入ください。その際、調査票「§0-3-3-(22).設置されている部局」の【その他】の回答欄に、含まれる部局（附属病院等）の内容をご記入ください。
学生寮	学生居住施設による値は除外してください。
その他キャンパスの飛び地施設	一括でデータを管理している場合は、提出をお願いいたします。個別の管理により、把握が困難な場合は、除外して頂いて構いません。

Q3. 短期大学としての調査への参加は可能ですか？

→調査票は4年制・6年制大学の大学宛てに、送付させて頂いておりますが、それ以外の大学からのご回答も受け付けております。

■回答内容に関してのご質問

Q4. 再生可能エネルギーの発電設備は設置していますが、実際の発電量は把握していません。どのように記載すれば良いでしょうか？

→「§1-2-(82)～(91). 2012年度時点での再生可能エネルギーの年間発電量(kWh/年)」の該当するエネルギー項目の記入欄に「不明」とご記入ください。

Q6. 附属病院等、併設の施設への再生可能エネルギー導入は、回答内容の対象に含まれますか？

→キャンパス附設施設への再生可能エネルギーの導入については、回答の対象となります。キャンパスへの導入量との合計値をご計上ください。

Q7. 燃料電池の設置は再生可能エネルギーの導入項目に含まれますか？

→燃料電池の設置も再生可能エネルギーの導入に含まれます。「§1-(82)～(86). 2012年度時点での再生可能エネルギーの発電設備容量(kW)」および「§1-(87)～(91). 2012年度時点での再生可能エネルギーの年間発電量(kWh/年)」の【その他】記入欄に内容及びその値をご記入ください。

Q8. 「§4-1-(168). 環境対策に特化した部署」に関して、大学組織図には反映されていないが、環境対策を担当している特定の機関・委員会が存在しています。どのように記載すれば良いでしょうか？

→大学組織図に反映されない場合には、回答で「いいえ」をお選びください。

以上